

肝Co こんな活動も

ソーシャルワーカー
(SW) さん



全国の肝炎医療コーディネーター（肝 Co）から集めた肝 Co 活動。
予防からフォローアップまで、ステップごとにまとめました。
普段使いに、また、活動のステップアップにご利用ください。

● は、患者さんとその家族へ向けてできること
(対象が患者さんとその家族)

予防

肝がん肝硬変予防のため
肝炎の正しい知識を
多くの方に普及する

共通の
活動

- 自分の家族や知り合いなど身近な人に、分かりやすい言葉で正しい肝炎の知識（感染経路、感染対策など）を伝える。
- 肝臓病教室や市民公開講座の開催、参加をする。（全国民へ肝炎について正しい知識を普及する機会を設ける。）
- 肝疾患相談窓口（肝疾患診療連携拠点病院・肝疾患専門医療機関）の案内をする。
- 患者さんから相談された時に、専門外のことも、肝 Co 仲間に相談し解決する方法を探る。
- 患者さんの気持ちを傾聴する。
- 奈良宣言のリーフレットを渡す。
- 肝炎ウイルス検査の結果について確認する。
- 予防接種状況について確認する。
- 患者さんや職員に肝 Co の受講を勧める。仲間を増やす。（肝 Co の育成）
- 院内（または院外）で行われている「肝臓病教室」への参加を勧めて肝臓について学べる機会を案内する。
- 肝炎啓発のポスターを掲示する。（たとえば、C 型肝炎は特効薬があり副作用が少ないことや、治療費の助成制度が利用できることなど。）
- 肝 Co のバッジなどをつけて肝 Co の存在をアピールする。
- 世界肝炎デーなどの地域イベント・マルシェなどに参加し肝炎について啓発する。：声かけ、資材活用（ティッシュやうちわなどの配布、啓発マスクやピンバッジ着用など）
- 上司に肝 Co 活動（自分がどんな活動をしているのか等）について説明し理解を得る。
- 肝炎チームを結成、参加し、仲間を増やす。
- 院内の職員にむけ肝炎の知識、検査の必要性などを普及啓発する。
- 院内の医療安全や感染対策委員会などで、拠点病院と連携し受講必須の研修会を開催する。
- 肝 Co 活動報告を院内・院外で行う。地域での研修会、学会発表（活動報告、研究発表など）をする。
- 病院ホームページから情報を発信する。
- 職場で参加するイベントの際に、肝炎ウイルス検査受検推奨の内容を記載した T シャツや帽子を着用して参加する。
- 肝疾患診療連携拠点病院と各医療機関・行政が連携し啓発活動をする。
- 市町村、地下鉄駅、道の駅、薬局へポスター掲示、リーフレット設置を依頼する。
- 肝炎に必要な知識をアップデートする。（定期的な勉強会、研修会への参加）

SW さん
だからこそ



- 肝臓病教室で利用できる公的サービスや相談室の案内を行う。
- 介護保険制度の説明を行い、地域包括支援センターへつなぐ。
- 啓発活動を通じて受診方法や病院、相談室の案内を行う。
- 肝炎訴訟制度についての紹介、助言を行う。
- 専用相談電話の対応を行う。
- 肝疾患に対する不安や治療方針に対する疑問の相談に対して、自身が学んだ一般的な肝疾患知識を伝えたり、公開されている情報先を案内することで、患者の病識理解の支援を行う。

- 関係機関（例：ケアマネ等）に肝炎の正しい知識を啓発する。
- 医療連携として他機関のSW と転院時の情報提供、新制度の認識共有を行う。
- 肝疾患の制度がわかりやすいリーフレットを作成する。
- 各制度や事業の問い合わせ先、疾患別のガイドブックの掲載サイト、地域ごとの専門医療機関など、患者さん家族からの相談に対応できるよう情報収集を行う。
- 院内外の医療者と関わる際に、肝炎のことで対応に困っている事例について声をかけ合う。
- 病院近隣の調剤薬局に訪問し、肝臓病教室の案内や啓発ティッシュを配架する。

受検

肝炎ウイルス検査の 受検勧奨を行う

共通の 活動

- 患者さんの気持ちを傾聴する。
- 未受検者に肝炎ウイルス検査を勧める。
- 無料肝炎ウイルス検査の周知、手続き方法を説明する。
- 無料肝炎ウイルス検査ができる施設の案内をする。（検査実施施設の一覧表を作成、配布、掲示する）
- 院内イベントなどで無料肝炎ウイルス検査を実施する。
- 院外での啓発イベントで無料検査機関の周知をする。
- 肝炎ウイルス検査を受けられた方に検査結果が伝えられているか確認し、医師につなげる。その際、検査結果通知カードなどを渡す。
- 肝炎ウイルス検査は陰性でも陽性でも検査結果に関わらず通知しなければならないことを周知する。
- 受診者の付き添いの方にも肝炎ウイルス検査の受検を勧める。
- ウイルス性肝炎の患者家族に検査を勧めると同時にワクチンについても説明し接種を勧める。
- サルコペニア判定をする。
- 生活習慣病の方に健康診断や、腹部超音波検査を勧める。
- 術前検査での肝炎ウイルス検査結果説明の実施について主治医に情報提供し患者への結果説明と肝臓専門医への紹介につなげる。
- 無料肝炎ウイルス検査の手続き方法が分かる人につなぐ。（職員への周知）
- 受検勧奨のポスターを掲示する。
- 職員に対し、患者さんへの受検勧奨を依頼する。
- 肥満など生活習慣病をもっている患者さんに FIB-4index の検査値を伝える。
- 受検勧奨資材の見直しをする。
- 自分の担当の患者さんの受検歴を調べる。

SW さん だからこそ

- 肝炎ウイルス治療を行う患者さんとの面談時に家族の検査歴について確認し、未受検ならば勧める。

受診

肝炎ウイルス検査 陽性者に肝臓専門医での 精密検査を勧める

共通の 活動

- 患者さんの気持ちを傾聴する。
- 症状がない肝炎患者に受診の必要性を説明する。（症状がない間にも進行しているのですので受診するように説明）
- 最新の治療方法について、患者さんに紹介し受診に対する心理的なハードルを下げる。
- 肝炎ウイルス検査が陽性の患者さんに、肝臓専門医がいる医療機関の受診を勧める。
- 肝炎の患者さんで未治療の方がいたら受診を勧める。
- C型肝炎で、過去にインターフェロンの治療をされ、完治していない患者さんに受診を勧める。
- インターフェロン後の副作用が不安で再治療拒否をされる方に対し、DAA 治療は副作用が

少ないことを伝える。

- 初回の精密検査費用の助成制度について説明、手続きをサポートする。
- 糖尿病の患者さんは肝がんのリスクが2倍と言われているため腹部超音波検査をしていない場合は検査を勧めたり、Fib4-index 測定し、脂肪肝との関係とハイリスクであることを説明する。
- 眼科や整形外科などの術前検査の際に、肝炎ウイルス検査が陽性の患者さんには、肝臓専門医がいる医療機関を勧める。
- 肝臓専門医がいる医療機関の一覧を作成し、周知する。
- 問診やカルテから、受検歴と肝炎ウイルス検査が陽性の患者さんの拾い上げを行う。

SW さん だからこそ



- 患者や家族にウイルス性肝炎の初回精密検査費助成制度や指定難病等の社会保障制度を説明する。
- 肝機能障害の身体障害者手帳の申請方法や利用出来るサービスの説明をする。
- 傷病手当金や障害年金の申請方法を説明し申請のサポートをする。
- 高額療養費制度の説明をする。
- 制度内容や申請方法の要点をまとめたリーフレットを作成し、面談時に活用し、患者家族へ渡す。
- 医師の外勤先等医療機関や他機関 SW からの制度関連の相談に応じる。
- 医師から肝疾患制度案内の依頼を受けた際、カルテで患者情報（保険や居住地、家族情報など）を確認し、必要に応じて申請支援の必要性や案内のタイミング、制度利用のメリットを伝える。

受療

肝炎の治療を 勧める

共通の 活動

- 患者さんの気持ちを傾聴する。
- 過去にインターフェロンなどの治療歴のある患者さんでウイルス排除されていない方に、再度治療を勧める。（医師の確認後）
- インターフェロンを行った患者さんの DAA 治療に対する不安について傾聴する。
- 治療薬を飲み忘れないための方法を患者さんとともに考える。
- B 型肝炎の患者さんに対しステロイドや免疫抑制剤、抗がん剤を使用する場合、B 型肝炎の再活性化のチェックをする。
- 仕事と治療の両立で悩まれている患者さんのサポートをする。（両立支援）
- 医療費助成制度の説明や相談に対応をする。
- ウイルス性肝炎の治療中から治療後も定期検査が必要であることを伝える。
- 入院、外来患者さんに、治療完遂までの継続の重要性を説明、サポートをする。
- 肝炎ウイルス治療において、副作用のほとんどない内服のみでできること、C 型肝炎の治療はウイルス排除ができること、B 型肝炎はウイルスの活動性を抑えることができることを伝える。

SW さん だからこそ



- 肝炎治療費助成制度の相談に対し説明をする。
- 指定難病の説明をする。
- 肝炎に関する医療費助成制度、肝がん、重度肝硬変研究促進事業の説明をする。
- 患者面談において経済的な不安で DAA 治療を迷っている患者さんに保険や収入等の生活背景を聞き取り、医師に使用予定の薬剤を確認し、具体的な治療にかかる費用を案内する。
- 患者面談において肝疾患患者の退院支援への不安を訴えがあった際、不

安な点を専門医に確認するよう促したり、必要に応じてこちらから専門職の肝 Co と連携し、治療に向け調整する。

- 肝疾患患者の退院支援をする。
- 治療と仕事の両立に支援を必要とする患者さんに、担当医と連携して両立支援する。
- 退職する患者さんに医療保険加入の継続方法について説明する。
- 就労のことについて不安のある患者さんに産業保健総合支援センターを案内する。

フォローアップ

肝がんの早期発見のため
定期的な検査を勧める

共通の活動

- 肝炎ウイルス陽性歴のある患者さんに定期検査を必ず受けるよう説明する。(治療後の発がんリスクを実際の数値で示す。)
- 肝疾患の患者さんになぜ定期検査が必要であるかを説明する。
- 定期検査に來られてない患者さんに連絡する。
- 他の疾患で受診されている患者さんで過去に肝炎ウイルス治療歴のある患者さんの定期検査歴を確認する。
- アルコール依存症の患者さんや家族への対応、支援をする。
- 市民公開講座などを開催し、定期検査の必要性を周知する。
- 治療の初期段階から定期検査の必要性を説明する。
- 定期検査費用の助成制度について説明する。(対象者)

SWさん だからこそ

- 定期検査の必要性、定期検査費助成制度の説明をする。
- 地域へ移動した患者さんが定期的な検査が受けられるよう関係者と連携する。
- 患者さんの同意の上で、制度申請に行かれることを情報提供する。
- 助成制度の申請について患者家族にも説明する。